

**平成27年度 全国学力・学習状況調査  
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河南中学校長

平成27年4月21日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語と数学と理科の3教科の実施となりました。また、理科は4年に一度の実施であり、本年度実施いたしました。

国語と数学の2教科については主に知識に関する「A問題」と、主に知識を活用する力に関する「B問題」を実施しました。

理科は、主として「知識」に関する問題、主として「活用」に関する問題を一体的に問う問題を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であるとともに、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

**【本校と全国の平均正答率比較】**

教科	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語A	75.8%			○		
国語B	65.8%			○		
数学A	64.4%				○	
数学B	41.6%			○		
理科	53.0%					○

【国語A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	79.7%			○		
書くこと	73.6%				○	
読むこと	86.1%				○	
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	72.9%		○			

【考 察】

- 「話すこと・聞くこと」については全国平均正答率とほぼ同じです。これは、話し合い活動の際に、自他の発言の共通点と相違点を明確にして検討する活動を取り入れた成果と考えられます。今後は、一人ひとりの確実な定着を目指して指導していきます。
- 「書くこと」については全国平均正答率をやや上回っています。これは、お互いが書いた文章を読み合って助言し合う活動を取り入れた成果と考えられます。今後も、よりよい文章を練り上げるための活動に力を入れて指導していきます。
- 「読むこと」については全国平均正答率をやや上回っています。これは、読み深めの時間の確保や表現の工夫に関する繰り返しの指導の成果と考えられます。今後は、複数の読み物資料から読み取る力をさらに高める指導に力を入れていきます。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については全国平均正答率をやや下回っています。これは、語句を適切に活用する力や単語の類別に関する理解の不足が原因と考えられます。今後は、種々の資料を活用して語彙力の向上を目指します。

【国語B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	72.2%	○				
書くこと	36.7%	○				
読むこと	62.6%				○	

【考 察】

- 「話すこと・聞くこと」については全国平均正答率を下回っています。これは、図やグラフなどの資料の活用に関する指導の不足が原因と考えられます。今後は、「社会科」や「総合的な学習の時間」などとの関連指導にも力を入れて活用する力の向上を目指していきます。
- 「書くこと」については全国平均正答率を下回っています。これは、効果的な文章の展開や構成に関する指導の不足が原因と考えられます。今後は、自分の考えを効果的に伝えるための工夫に力を入れて指導していきます。
- 「読むこと」については全国平均正答率をやや上回っています。これは、一人一人の読み取りを評価して意欲向上に努めた成果と考えられます。今後は、理解の程度に応じた適切な助言を心がけて読解力の向上を目指します。

【数学A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	67.7%	○				
図形	63.4%					○
関数	61.7%					○
資料の活用	63.0%					○

【考察】

- 「数と式」領域については全国平均正答率を下回っています。特に連立方程式をつくったり解いたりすることが課題に残りました。授業で理解した後の練習問題による定着が不十分だったことが考えられます。今後は、確実な理解と十分な問題練習により学力の定着を図っていきます。
- 「図形」領域の証明の必要性と意味を理解しているかを問う問題では全国平均正答率を大きく上回っています。これは根拠や意味理解を大切に扱った上で証明の記述や表現の学習を進めた成果であると考えられます。
- 「関数」領域の反比例のグラフを選ぶ問題では全国平均正答率を大きく上回っています。これは関数のグラフは関数の式を成り立たせる  $x$ 、 $y$  を座標とする点の集合であるという本質を理解させた成果であると考えられます。
- 「資料の活用」領域のさいころを投げるときの確率について正しい記述を選ぶ問題では全国平均正答率を大きく上回っています。これは確率の意味について理解を深めさせた成果であると考えられます。

【数学B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	63.2%		○			
図形	39.0%	○				
関数	30.7%			○		
資料の活用	31.2%					○

【考察】

- 「数と式」領域の事柄が成り立つ理由を説明する問題では全国平均正答率を下回っています。日々の授業において根拠に基づいて考えることや考えたことを相手に伝える活動を多く取り入れていきます。
- 「図形」領域の問題解決の方法を図形の性質を用いて説明する問題では全国平均正答率を下回っています。根拠や理由を説明する活動を多く取り入れて授業を行い学習した内容を活用して説明できるよう指導していきます。
- 「関数」領域の必要な情報を選択して的確に処理する問題では全国平均正答率を大きく上回っています。しかし、中心角の大きさを求める方法を説明する問題では全国平均正答率を下回っています。友達に根拠を明確にして説明する機会を増やして説明できるよう指導していきます。
- 「資料の活用」領域の必要な情報を選択し的確に処理することができるかを問う問題では全国平均正答率を大きく上回っています。これは、生活場면을題材にした様々な問題解決学習に取り組ませ的確に判断する機会を十分に設けた成果であると考えられます。

【理 科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
物理的領域	48.9%				○	
化学的領域	56.2%					○
生物的領域	62.2%					○
地学的領域	46.4%					○

【考 察】

- 物理的領域では凸レンズによってできる像の問題や音の高さを波形から読みとる問題に課題が見られました。どのような結果で課題が証明できるか見通しを持った実験に取り組みさせることで、確かな知識の定着が図れるようにしていきます。
- 化学的領域では、他者の考えを検討して改善し化学変化を説明する問題が平均を下回りました。実験結果から考察し、科学的根拠をもとに説明する力が弱いように思われます。化学式の問題は大幅に上回っていますので、実験時の誤差も含めて求める思考力を問う問題に取り組みさせて、学力をさらに伸ばしていきます。
- 生物的領域では、全ての領域で上回っています。自然の多い学校環境を生かしながら、興味・関心を高めるような観察や実験を行い、さらに学力を伸ばしていきます。
- 地学的領域では、上空と地上の気温差による降水量の違いを調べる装置の問題がやや下回っています。上空の気候のイメージが地上と同じと考えてしまう生徒が多かったためであると考えられます。映像資料等を用いながら知識を定着させていきます。

**平成27年度 全国学力・学習状況調査  
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河南中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や携帯電話やスマートフォンなどへのかかわりなど家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していきたいと思えます。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、て、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

1 普段（月～金）、授業以外にどのくらいの時間を学習していますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中	白河南中	9.5	41.9	29.7	14.9	2.7	1.4
3	全 国	10.4	25.3	33.3	17.0	8.6	5.3

(単位 %)

【考 察】

- 家庭学習については、「2時間以上」の生徒が半数おり、「30分未満」や「全くしない」という生徒が全国平均を下回っています。これは、学級で生活ノート等を利用した働きかけや各家庭での指導の成果であると考えます。
- 今後は、家庭学習の時間が「2時間未満」の生徒の学習時間をさらに増やすために、課題内容の見直しや学習時間を増やすための工夫を行っていきます。

2 自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかとい えばしている	あまり していない	全く していない
中	白河南中	14.9	33.8	43.2	8.1
3	全 国	16.5	32.3	36.3	14.8

(単位 %)

【考 察】

- 計画的な学習については、定期テスト等の際には毎回取り組んでいます。しかし、普段は意識せず「あまりしていない」「全くしていない」を合わせて半数を超えているという現状です。

○ 今後は、教育相談や生活記録ノートを活用し、見通しを持って学習するよう支援していきます。

3 普段（月～金）、授業以外に1日当たりどのくらいの時間、読書をしますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
中	白河南中	10.8	17.6	39.2	17.6	2.7	12.2
3	全 国	6.3	18.7	15.6	21.6	12.7	35.0

(単位 %)

【考 察】

- 読書を「30分以上」している生徒は全体の7割弱おり良好です。朝自習での読書の時間の確保や学級文庫などの取組の成果と考えられます。
- 生徒の読む本の実態として「ライトノベル」類が多く見られます。学校図書館の充実をさらに進め、中学生として読んでもらいたい本の選定や生徒への紹介の工夫に力を入れていきます。

4 普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。

		4時間以上	3時間以上 4時間未満	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	1時間未満	持っていない
中	白河南中	5.4	5.4	9.5	25.7	24.4	29.7
3	全 国	9.9	8.3	13.1	16.3	30.7	21.4

(単位 %)

【考 察】

- 「2時間以上」の割合は、全国平均を下回っており良好です。各家庭におけるノーメディアの取組が少しずつ効果を発揮しているといえます。しかし、「2時間以上」の生徒が2割いることは大きな課題ですので、今後は個別に支援していきます。
- 開校以来ノーメディア運動に取り組んでいますが、年々スマートフォンの所持率が上がっています。家庭でノーメディア運動をさらに推進するとともに、スマートフォンの利用法や「親の約束」について、改めて協力をお願いします。

5 朝食を毎日食べていますか。

		食べている	どちらかといえ ば食べている	あまり食べて いない	食べていない
中	白河南中	83.8	10.8	2.7	2.7
3	全 国	83.8	9.7	4.7	1.9

(単位 %)

【考 察】

- 朝食については定期的に「食の教育」や「アンケート調査」を学校全体で行っていることもあり、「食べている」「どちらかといえば食べている」生徒が大部分であり良好です。
- しかし、「食べていない」生徒が全国平均を上回っています。今後は、実態把握を行い、改善に向けて個別の支援を働きかけていきます。

6 家の人（兄弟姉妹以外）と学校の出来事について話をしますか

		話している	どちらかといえ ば話している	あまり話して いない	話していない
中 3	白河南中	47.3	31.1	13.5	8.1
	全 国	43.6	30.1	20.0	6.3

(単位 %)

【考 察】

- 家庭での会話は「している」「どちらかといえばしている」を合わせると全国平均を上回っています。各家庭において、学校に対し関心を持ち、子どもたちと一緒に過ごす時間を確保していただいている成果と考えます。しかし、「話していない」生徒も全国平均を上回っています。
- 今後も、家庭と生徒に共通の話題がもてるような学校だより、学年通信等についてさらに工夫するとともに、特に「話していない」生徒に対し個別に働きかけをしていきます。

7 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

		当てはまる	どちらかといえ ば当てはまる	どちらかといえ ば当てはまらない	当てはまらない
中 3	白河南中	73.0	24.3	1.4	1.4
	全 国	73.0	20.7	4.4	1.8

(単位 %)

【考 察】

- いじめについては、どんな理由があってもいけないと思っている生徒が全国平均を上回っています。毎年生徒会を中心にいじめ撲滅について全校集会を行い、規範意識が高まってきていることも要因と思われます。
- 今後、さらに集団全体として向上していこうとする意欲や、その向上に貢献するための実践力を育てていきたいと考えます。

8 家で、学校の宿題をしていますか。

		している	どちらかといえ ばしている	あまりしていな い	全くしていな い
中	白河南中	81.1	13.5	5.4	0.0
3	全 国	65.8	23.5	7.9	2.6

(単位 %)

【考 察】

- 家で「宿題をしている」生徒が全国平均を大きく上回り、また、「全くしてい  
ない」という生徒がおらず、大変良好な状況にあります。
- 帰宅後の時間を有効に活用し、さらに計画的な学習についての見直しと内容の充実  
についての工夫を行っていきます。

9 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしま  
すか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)

		4時間以上	3時間以上 4時間未満	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	1時間未満	全くしない
中	白河南中	6.8	18.9	32.4	33.8	6.8	1.4
3	全 国	5.5	12.2	24.0	27.0	20.6	10.6

(単位 %)

【考 察】

- 全国平均に比べ、全体を通して長時間学習する生徒が多いです。家庭学習は習  
慣化しており、家庭学習ノート、教科の宿題に加え、土日には週末課題などにも  
積極的に取り組んでいます。
- 今後も、土日を利用してまとまった時間で苦手教科の克服や個別の課題の解決  
などに取り組ませ、知識が定着するよう支援を続けます。